

児童発達支援 事業所における自己評価結果

令和3年1月1日 現在

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			広々と活動できるスペースと個別の学習や作業を行えるスペースを設け、一所に偏らないように活動を工夫しています。
	2	職員の配置数は適切である	○			スタッフ1に対して、児童の員数が2を超えないようにスタッフ数を配置するようにしています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている		○		玄関まではスロープがあり、二階室内は段差などを少なくした作りになっています。しかし、二階に上がるためのエレベーターの設置はありません。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○			室内の清潔や個々の特性への配慮に努めております。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			職員会議を行い、その中で話し合いを行っています。
	6	保護者等向けの評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			保護者評価は当社ホームページ上で公表しております。また、定期的にアンケートを実施し、療育の希望の他、ご意見・ご相談をうかがえるようにしています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行なうとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			当社ホームページ上で公表しております。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○	
	9	職員の資質の向上を行なうために、研修の機会を確保している	○			児童発達支援センター主催の研修会や札児連の研修会などに定期的に参加する他、社内研修も設けています。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			日々の活動から得られる情報などの集積にも努め、将来を見据えた上でのスモールステップが組み込まれた計画となるよう心がけています
	11	子どもの適応行動の状況を図るため、標準化されたアセスメントツールを使用している		○		各機関での検査結果等を参考にさせていただき、必要に応じ評価ツールを使用していますが全数実施は行えておりません。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている		○		偏りのないように個別支援計画は作成し、各項目についてバランスよく取り組むように考えています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行なわれている	○			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			どのような活動をどのように行っていくかなど職員全体で意見を出し合いながら検討をしています。
	15	活動プログラムが固定化しないように工夫している	○			新しいプログラムや季節に応じた体験などが行えるようプログラムを考えています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○			双方の活動がバランスよく行えるように日単位、週単位、月単位で考えながらプログラムを検討しています。

適切な支援の提供	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			活動開始前にミーティングを行い、活動、送迎などの確認を行っています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			情報を出し合いながらメモを残すようにし、次回以降の反省や注意点とるようにしています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			活動の記録は必ず当日中に記録するようにしています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			定期でモニタリングを行ない、必要な修正や見直しを行うよう努めています。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			児童発達支援管理責任者が出席させていただいております。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行なっている		○		必要に応じ、助言や相談を受けるようにしております。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行なっている			○	該当の利用者はおりませんが、事案に応じ連絡調整をお願いしていこうと考えています。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			○	該当の利用者はおりませんが、事案に応じ連絡調整をお願いしていこうと考えています。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている			○	必要に応じ情報共有を図りたいと考えております。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			引継書を作成する他、必要に応じて連絡等行っています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			研修会に参加する他、活動に関する相談をさせていただくことがあります。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある			○	偶発的な関わりが得られることはありますが、これを主たる目的とした活動は行っておりません。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している			○	交流会など可能な限り出席するよう努めています。
	30	日ごろから子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			面談やノートの使用により情報交換に努めています。またいただいた情報は保管し、職員間でも共有に努めています。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている			○	個別の相談には応じておりますが、研修会などは行っておりません。

保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時の説明にとどまらず、適宜情報提供に努めていきたいと思います。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			作成した個別支援計画については、確認をいただいております。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			ご相談いただいた案件に関しては、真摯に対応させていただこうと考えております。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			○	今後は、少しずつでも行っていけるように、計画していきたいと考えています。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			相談・ご希望あれば可能な範囲内で対応させていただきようとしております。また苦情等についても真摯に対応させていただきよう努めております。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			一ヶ月に一度おたよりを発行させていただいております。現在は活動予定を中心にお伝えしていますが、必要な情報などあれば掲載していきたいと考えていますので、ご要望などお寄せ下さい。
	38	個人情報の取り扱いに十分注意している	○			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			口頭やノートなどを通じて連絡を行っておりますが、よりよい方法があれば都度取り入れて参りたいと考えています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			事業所祭は、ご家族はもちろん、お知り合いの方、地域近隣の方々など広くお招きしております。
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している			○
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			職員については年に2回の避難訓練を行っております。児童も含めた訓練を今後は行いたいと考えています。
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○			事前に確認を行なうようにし、記録は保管するようしております。
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている			○	ご家族の申告に基づいて食物の提供を管理しています。
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			事例を出し合い、再発防止、類似案件の発生防止に努めていますが事例集の作成は行っていません。
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			法人内の組織である虐待防止委員会が中心となり研修を行っています。事業所内に標語の掲示もしています。
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			個別支援計画に全数記載を行っています。あくまで危険回避を目的に手足を抑えるなどの行為を行うことがあることを明示しています。